

2020 足利風土祭

ARTコース

市外局番は0284

2/7日~15日

ギャラリーもみの木

本城3-3892-5 ☎21-4500

開館時間●11:00~18:00 (会期中無休)

入館●無料

ほんのりシュガー 岡 一舛展



2017年4月号から『渡良瀬通信』の表紙絵を描き続けている岡一舛(館林出身)の足利での初めての個展です。明るくユーモラスなタッチが評判の同誌の表紙ですが、この展覧会では、連載されている表紙原画のほか、国内外で入選した作品の数々も展示されます。



2/17日~29日

インテックス・ジャパン ギャラリー

緑町1-3-1 ☎22-7557

開館時間●11:00~15:00 (25・26日は休廊)

入館●無料

石を愛でる



じっと見つめていたり、ゆっくり触ったりすると、不思議な安らぎを与えてくれる「石」。初めて石を選ぶ方からキャリアのある愛石家まで、幅広く楽しんでいただける「石」の企画展です。



1/30日~2/11日

ギャラリー碧

巴町2547 ☎21-3258

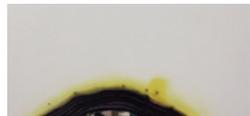
開館時間●10:00~18:00 (水曜日)

入館●無料

菊地武彦・菊地匠展



紙に岩絵の具という素材を用いながら、日本画という言葉では一括りにできない、現代アートとしての表現を追求してきた菊地武彦。一方、大学院卒業後既存の日本画という概念の枠を超えた表現を発表、現代アート作家としてスタートを切った菊地匠。興味深い2人の展覧会です。



2/20日~29日

漆工房の店くぼた

昌平町2365 ☎44-0767

開館時間●10:30~18:00 (水曜日)

入館●無料

窪田直弘「盆々展」



足利に工房を構えて15年になる窪田直弘のお盆だけを集めた展示です。「木と漆」にこだわって作り続けている窪田の大小、形もさまざまなお盆を紹介し、食卓だけでなく書斎で使えるお盆などもあります。いろいろな使い方を楽しんでいただけたらと思います。



2/1日~9日

乾ギャラリー

通5-3190-1 ☎21-8610

開館時間●11:00~18:00 (会期中無休)

入館●無料

「柳川謙治 陶展」

一足利からのやきもの発信



京都の窯元で修業し、郷里の足利(大月町)に築窯した柳川謙治の作品展です。白磁、青磁、染付を中心とした「普段使い出来る器」が評判。最近では足利の土を使った陶器にも力を注いでいます。



2/22日~25日

人形のやながわ

相生町385 ☎41-3901

開場時間●10:30~18:00

入館●無料

季礼文字で綴る足利

日本には季節を感じる美しい言葉がたくさんあります。言葉の感情をイメージしながら花を活けるように書を表現する「季礼文字」の教室を主宰する、粕谷真友美氏と足利教室の生徒たちの作品展示。22日(11時~、14時~)にはワークショップ「季礼文字で迎える桃の節句」を開催(材料費負担)します各回5名で要予約、作品の持ち帰りもできます。



ギャラリー いまあじん

本城1-1582-5 ☎41-2220

開館時間●12:00~19:00 入館●無料

2/1日~11日 「YUKUE-愛・心・望-」 Aki×Mie平面と立体

2/15日~24日 「colorful natural form」 緑川裕子

『2019年シルバーアクセサリーコンテスト国際展』グランプリ受賞の緑川裕子が創り出す個性豊かなアクセサリー。



足利風土祭 まちめぐり MAP

- FOODコース
- ARTコース